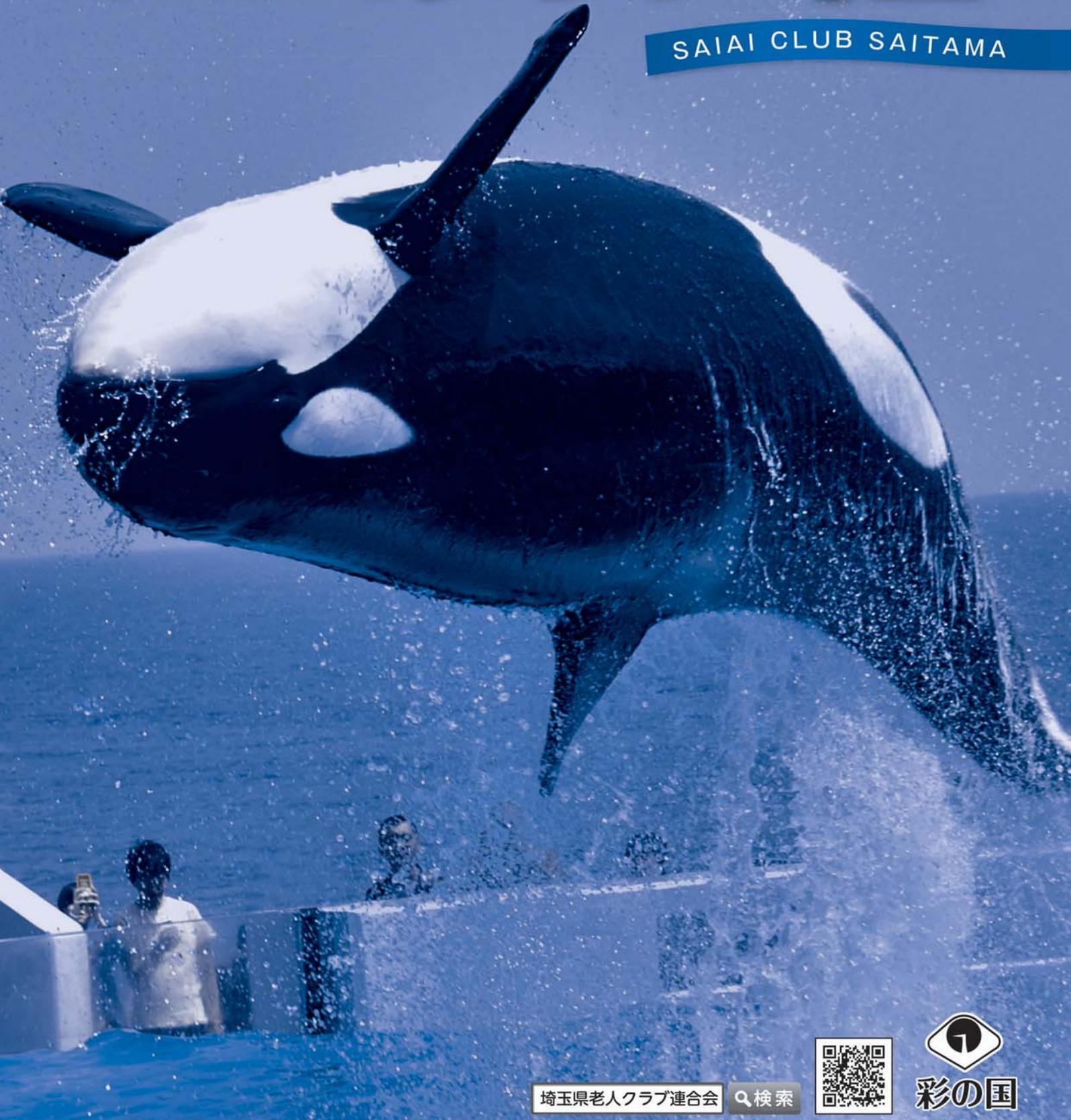


埼玉県老人クラブ連合会機関誌

令和4年
8月30日 NO. 127

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA



埼玉県老人クラブ連合会

検索



彩の国

就任挨拶

「老人クラブ」を次の時代へつなげよう！
埼玉県老人クラブ連合会



会員の皆様には、日頃、県老連の事業推進に多大なるご尽力を賜

り、心より感謝申し上げます。

この度、令和四年度第二回県老連理事會において、再度、会長に就任させていただき、責務の重大さを痛感しております。

本会は発足より、昨年度に六十年を迎えましたが、新型コロナウイルスの影響により、会員数が一年間に約一万人減少という、かつて経験したことがない危機的状況になっています。そんな厳しい中で、今までの方法とは全く違う会員増強運動に着手し、スタートいたしました。令和三年四月に新・会員増強委員会を立ち上げ、広報委員会の協力を得て、令和四年一月に「会員増強の手引き」を発行し、令和四年五月に会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増二名プラン」を作成し、現在、全市区町村老連の皆様へ周知徹底と本事業へのご理解と推進のお願いをしているところでございます。

会長 内田 まさ子

会員増強運動を達成するには、会員一人ひとりの皆様のお力が必要不可欠です。全会員が総力を結集し、知恵を出し合い、声をかけ合い、絆を絶やさず、希望を持って、積極的にこの会員増強運動に参画してください。十年後、二十年後を見据え、今の素晴らしい「老人クラブ」を時代に即した在り方を模索しながら、次の時代へつなげていきましょう。

皆様と一緒に、未来を築くために、全力で会員増強運動に取り組んで参ります。新しい会員を増やすため、柔軟な考えを持ち、広い視野に立って、真摯な姿勢でリーダーシップを発揮し、会長職を一生懸命務めて参ります。

そのためにも、今まで以上に、会員同士の連携を強化し、各市区町村老連の活動の情報を共有化し、交流をさらに深め、県老連の発展のため、今後も努力を続けていきます。

私自身、微力ではございますが、どうか、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和四年度 第一回理事会開催

令和四年五月十七日（火）、彩の国すこやかプラザにおいて第一回理事会を開催しました。出席者は理事十六名、監事二名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・会長 内田まさ子
- ・監事 清水 絹代
山路 孝

◆第一号議案「令和三年度事業報告について」
原案のとおり承認されました。

◆第二号議案「令和三年度収支決算について」
原案のとおり承認されました。

◆第三号議案「会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増二名プラン（案）」について」
原案のとおり承認されました。

◆第四号議案「二〇二〇彩愛クラブ埼玉「電話等による友愛活動マニュアル」の活動期間等について」
電話等による友愛活動の活動指針の五、活動期について、令和二

年、令和四年までと記載されていたが、「期限なし」と変更することで承認された。なお、報告については、毎年度作成の県老連事業報告書に掲載することが、併せて承認された。

◆第五号議案「女性委員会設置規程の一部改正について」
女性委員会、副委員長四名を五名に改正する事が承認された。

◆第六号議案「令和四年度定時評議員会の開催について」
原案のとおり承認された。

日時 令和四年六月十日（金）
十一時～
会場 彩の国すこやかプラザ
「会議室一」

報告事項

- 一、令和四年度第二回正副会長の開催について
- 二、令和四年度第二回理事会の開催について
- 三、令和四年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学入学生募集について

令和四年度 第二回理事会開催

令和四年六月十日（金）、彩の国すこやかプラザにおいて第二回理事会を開催しました。

出席者は、理事二十名、監事二名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・会長 内田まさ子
- ・監事 清水 絹代
- ・監事 山路 孝

◆第一号議案

左記のとおり決定しました。

- 会長 内田まさ子(川口市)
- 副会長 久保谷昌夫(春日部市)
- 副会長 谷合 傳治(富士見市)
- 副会長 小林松十郎(川越市)
- 副会長 品川 惣壽(さいたま市)
- 副会長 藤野 銀三(熊谷市)
- 副会長 玉水きみ子(春日部市)
- 常務理事 落合一弘(学識経験者)

◆第二号議案「令和四年度シルバースポーツ大会の役割分担、係員の依頼について」

☆シルバースポーツ大会の役割分担

・ゲートボール

内田親理事

・グラウンド・ゴルフ

藤野銀三副会長

・ペタンク

・ソフトテニス

久保谷昌夫副会長

・ソフトテニス

・ワナゲ

品川惣壽副会長

・マゲダーツ

玉水きみ子副会長

・司会

・開会宣言

清水絹代監事

品川惣壽副会長

報告事項

一、会長、常務理事の職務の執行状況について

二、会員増強の手引き、「年間一単位クラブ純増二名プラン」について

三、二〇二〇「彩愛クラブ埼玉」電話等による友愛活動「マニユアル」について

四、「埼玉県老人クラブ連合会緊急財政計画」について

五、今後の理事会等の日程について

令和3年度一般会計収支決算報告

(単位：円)

収入の部		支出の部	
36,565,234		36,565,234	
基本財産利息収入	3,096	○会議費	171,594
分担金収入	13,148,400	○事業費	31,575,120
一般事業収入	3,037,404	事業推進員	2,076,238
県補助金収入	8,104,000	老人クラブ大会費	1,149,543
共募配分金収入	14,000,000	事業職員給与等	21,493,288
民間補助金収入	28,600	女性リーダー研修会費	0
負担金収入	247,000	友愛活動事業費	121,360
基本財産取崩収入	10,008,000	女性委員会活動事業費	138,136
前期繰越収入	516,734	市町村育成事業費	2,830
		市町村老連会長研修会費	180,300
		高齢者健康増進事業費	79,440
		健康づくり大学費	1,730,353
		機関誌発行費	3,794,190
		研修会・会議参加費	1,560
		市町村活動助成事業費	350,000
		地区連絡協議会	457,882
		○法人管理費	4,818,520
		職員給与等	1,518,334
		旅費	221,330
		事務費	2,349,356
		○負担金	729,500

地区連絡協議会 開催報告

東部地区

令和四年五月二十五日(水)

あしすと春日部

〈説明〉

- ・県老連令和四年度事業計画
- ・会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増一名プラン」
- ・2020 彩愛クラブ埼玉「電話等による友愛活動マニユアル」の活動

〈協議事項〉

- ①東部地区連絡協議会会長の選任について
- ②東部地区連絡協議会副会長の選任について
- ③県老連理事候補者の選任について
- ④県老連評議員候補者の選任について
- ⑤県老連女性委員会委員の選任について
- ⑥その他・意見交換

西部地区

令和四年五月二十二日(月)

キラリふじみ

〈説明〉

- ・県老連令和四年度事業計画
- ・会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増一名プラン」
- ・2020 彩愛クラブ埼玉「電話等による友愛活動マニユアル」の活動期間の延長と内容について

南部地区

令和四年五月十九日(木)

彩の国すこやかプラザ

〈説明〉

- ・県老連令和四年度事業計画
- ・会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増一名プラン」
- ・2020 彩愛クラブ埼玉「電話等による友愛活動マニユアル」の活動期間の延長と内容について

〈協議事項〉

- ①西部地区連絡協議会会長の選任について
- ②西部地区連絡協議会副会長の選任について
- ③県老連理事候補者の選任について
- ④県老連評議員候補者の選任について
- ⑤県老連女性委員会委員の選任について
- ⑥その他・意見交換

〈協議事項〉

- ①南部地区連絡協議会会長の選任について
- ②南部地区連絡協議会副会長の選任について
- ③県老連理事候補者の選任について
- ④県老連女性委員会委員の選任について
- ⑤その他・意見交換

北部地区

令和四年五月二十日(金)

熊谷文化創造館「やくらめい」と

〈説明〉

- ・県老連令和四年度事業計画
- ・会員増強の手引きを活用「年間一単位クラブ純増一名プラン」
- ・2020 彩愛クラブ埼玉「電話等による友愛活動マニユアル」の活動期間の延長と内容について

〈協議事項〉

- ①北部地区連絡協議会会長の選任について
- ②北部地区連絡協議会副会長の選任について
- ③県老連理事候補者の選任について
- ④県老連女性委員会委員の選任について
- ⑤その他・意見交換

主な協議結果は次のとおりです。

地区連絡協議会会長

東部地区 玉水きみ子(春日部市)

南部地区 品川惣壽(さいたま市)

西部地区 谷合傳治(富士見市)

北部地区 藤野銀三(熊谷市)

県老連理事候補者

東部地区 玉水きみ子(春日部市)

久保谷昌夫(春日部市)

内田親(加須市)

茂呂義雄(三郷市)

西部地区 谷合傳治(富士見市)

小林松十郎(川越市)

獅子倉康治(朝霞市)

南部地区

瀧澤啓次(入間市)

千葉重信(新座市)

中寫きく江(狭山市)

矢島繁太郎(三芳町)

内田まさ子(川口市)

品川惣壽(さいたま市)

岩澤勝徳(川口市)

関根清一(伊奈町)

納美恵子(さいたま市)

藤野銀三(熊谷市)

丸山真司(上里町)

岩崎菊雄(秩父市)

吉田妙子(熊谷市)

盛永光章(久喜市)

本郷建治(越生町)

玉水きみ子(春日部市)

清水絹代(越谷市)

齋藤静江(白岡市)

石渡弘子(三郷市)

植原登美子(久喜市)

岡野敏伊(狭山市)

外立文代(和光市)

比留間弘子(朝霞市)

若山静江(所沢市)

山本百合子(富士見市)

納美恵子(さいたま市)

石川みよ子(戸田市)

矢崎廣江(伊奈町)

川畑篤子(北本市)

鮫嶋紀子(上尾市)

吉田妙子(熊谷市)

飯塚美美代(上里町)

令和四年度

関東甲信越ブロック老人クラブリーダー研修会

令和四年六月二十三日（木）～二十四日（金）新潟県で開催されました。会場は南魚沼郡湯沢町「N A S P A ニューオータニ」、各地から百八十五名、本県からは十名が参加した。



1. 第一日目の研修

開会式に続いて基調報告は全国老人クラブ連合会

参事 河野敦子氏

- 一、全老連創立六十周年
- 二、高齢者を取り巻く社会情勢
- 三、老人クラブの現状
- 四、今後の取り組みに向けて
- 五、よりよい単位クラブ活動のために

2. パネルディスカッションでは

○「つながる」コロナ禍でも高齢者の繋がりを絶やさない為に

と題して、コーディネーター 河田瑠子氏

誰にでも手軽に始められて、誰でも参加できる「居場所」、その地味な取り組みを継続することで、実に多くの効果が期待できる。

◆パネラー

○ 横浜市老連 小野順子

「縦社会の難民化」小高い丘の上に建つ、エレベーターの無い5階建ての団地、高齢者は階段を下

りられなくなった。

○ 株式会社 雷神 細木真歩

スマホでつなぐ地元学生と高齢者

○ 新潟県老人クラブ連合会

副会長 辺見雅信

「つなぐ・はずむ・笑う！」女性が輝く通いの場づくり

―女性の笑顔が男性を呼ぶ―

三名の方々が各地域に合った活動を通しての成果を発表された。

3. 懇親会（一分間スピーチ）

各都県市から一名の方の一分間スピーチが行われた。埼玉県の代表としてさいたま市老人クラブ連合会長品川惣壽氏は「これからの老人クラブに女性リーダーを育てていただきたい」と会場の皆さんに提案し、大きな拍手を頂きました。

4. 第二日目の研修

表彰式では、六十九名の方々が受賞され、埼玉県老連関係者は、獅子倉康治氏、清水絹代氏、山路孝氏。

5. 「講演」

演題 老境こそすべて、笑いな

ながら幸せを味わおう

講師 新潟お笑い集団NAMA

RA代表 江口 歩氏



6. 閉会式

次回開催市の新潟市老人クラブ連合会会長石川義成氏の挨拶、続いて、新潟県老人クラブ連合会会長長玉正方氏の閉会の言葉で終了した。

さいたま市 納 美恵子



令和4年度

市町村老人クラブ連合会会長研修会

県老連主催の「令和4年度会長研修会」が「彩の国すかやかプラザ」に於いて開催された。

昨年と同様に、コロナ禍での開催のため、地域を「東部・南部」、「西部・北部」に分け、会場も三密を避け、受付での検温・手指の消毒や、器具類の消毒を実施した。

◆会議の日程

◆東部・南部地域 7月15日(金)
出席者数 38名

◆西部・北部地域 7月20日(水)
出席者数 18名

◆開会式

県老連副会長より、開会の言葉を頂いた。内田まさ子県老連会長から会員の増強について「毎年減少した以上を増員すれば、会員の減少を防ぐことができる」と、アドバイスをいただいた。

◆県老連のクラブ数と会員数について

落合県老連常務理事より、平成23年度～令和4年度の市町村老連は「クラブ数」「会員数」の情報の開示がされた。

昨年度は、特に減少数が大きく、「クラブ数」百十六の減少。「会員数」一万九百十七の減少となった。

◆令和4年度の実績数は、

◆会員増強の手引きを活用

「クラブ数」二千六百八十八クラブ
「会員数」十三万四千三十五名。

◆年間1単位クラブ純増2名プランの推進について

◆椎名県老連主幹は、この活動の取りくみについて、活動内容を詳細に説明した。

さらに、地域の実情に応じて、推進方法を「変更してもよい」との意向が示された。



◆「川越市老連の

会員増強運動について」

小林松十郎川越市老連会長より「会員増強プラン」について、映

像を使用した講演があった。

①組織的な推進を行います。

①市老連の理事会内に「会員増強実行委員会」を設置した。

◆委員長 石田副会長

◆副委員長 他の5副会長

◆各地域の責任者 支部長

◆推進担当者 クラブ会長

②委員長がプランを作成して活動を推進する。

③支部長は、地域の責任者となつて、活動を指導する。

④単位クラブの会長は、地域の実情に応じたプランを作成、班長・組長を活用して運動を推進。

②推進方法

①会員増強5名以上の単位クラブを、定期総会にて表彰する。

②10月に発表会を実施する。

③3月に全単位クラブに報告書の提出を求める。

④理事会と研修指導部会の2本立てで、運動を推進する。

③目標の設定

①地域を組別のエリアに分割

②エリア毎に勧誘計画を立てる。

③エリア担当、実施日を決める。

④勧誘訪問

①会員の紹介した友人

④夫婦会員の連れ合いを重点的

③記録を付ける

⑤逆転の発想が必要だなあ？

会員の増強ばかり言わない。

KJ法で「会員の減少の原因を分析」防止の対策を考える。

①解散・休会クラブを防ぐ為、相談窓口を新設。

②解散・休会は理事会に届けて承認を得る様に規約を改正する。

③会員の高齢化によるもの。

④組織の若返りにチャレンジ!

⑤会場に行くあし(車)がない。

▼会場を歩いてゆける場所に。

川越市 小林 松十郎



ワナゲ・マグダーツ普及講習会

過去最大の参加者で盛上がる

参加者百名超が、6月29日午後からすこやかプラザに集り、公式ワナゲ・マグダーツの講習会を開催しました。この日午前は10月20日開催予定のシルバースポーツ大会競技役員40名が参加し打合せも開催されていた。今年は例年にまさる参加者です。県老連品川副会長、玉水副会長から激励のエールをいただきました。

講師は、フレンドリー情報センターの西尾和久氏です。



まずは点数の数え方

縦横斜の列をつくることにこだわってください。1列で30点となります。4列だと120点。全部入ると三百点（パーフェクト）。

また入り辛い④と②棒の実体験や、チームでパーフェクトを競うなど受講者の気持ちをドンドン高揚させて行きます。早いチームは3人目で達成や4分を越えるチームなど。会場の雰囲気は最高に盛り上がりました。個々人の部では真剣な眼差しで狙いを定め輪を



投げます。

会場内から大きな歓声がわきあがりました。講習会では初めてのパーフェクトです。県大会まで好調を保ってください。

マグダーツ

後半はマグダーツです。ゲームの歴史を学んでいよいよ実技です。

オーソドックな投げ方や、下手投げなどスタイルは様々。右利きの方が多いためターツは右寄りになってしまいます。素早くコツを掴んだ人は少し左側に寄って投げなど工夫を凝らし2倍3倍ゾーンを狙えるようになる人もいました。



狙いどころのコツは

利き腕の肩を中心点に近づけて左右を調整。投げる時は、野球の球ではないので肩を使わない方が安定。肘と手首で投げるとか。20点19点など高得点の2倍3倍ゾーンを狙っています。

講習会の目的は、単会の行事に多様性を持てるために、誰でもが、楽しめるゲームとして普及を願っています。室内で出来るため天候に影響受けないで活動ができます。道具もワナゲセット&キャリーバッグで2万円です。県老連では道具の貸し出しも対応しています。市町村単位での大会などお気軽にご相談ください。



さいたま市 渡辺 充

(特集) 会員増強の手引き①

～声かけで仲間をふやそう～

◆新型コロナ感染症の現状

令和2年1月から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、令和4年度を迎えてもいまだ収束に至っていない。この間、コロナ禍はわが国経済や国民生活のみならず老人クラブにも多大な影響を与え続けている。

老人クラブでは、感染防止を図るため、事業の縮小や中止をしたので、会員は仲間との交流を自粛し、感染回避での外出控え等活動を制限されている。



◆県老連は会員減少を公表

県老連は、令和4年3月31日現在の埼玉県老人クラブのクラブ数・会員数を取りまとめ発表した。

クラブ数は2,688、会員数は134,035人。前年同期に比べ「116クラブ減、10,917人減」と大幅な減少となっている。



◆減少の原因・現状

◇減少の原因

- ①会員の高齢化によるもの。
- ②解散クラブや休会クラブによるもの。
- ③新型コロナによる活動の自粛によるもの。

◆改善策

- ①クラブ組織の若返りを図る。
- ②解散クラブや休会クラブを防ぐ手立てを考える。
- ③単位クラブ活動をコロナに負けない様に見直す。



◆会員増強のプラン

- 1 目的…埼玉県は、高齢者人口が増減しているにも関わらず、老人クラブの会員数が大幅に減少しています。(中略)「会員増強の手引き」活用し、会員増強運動の推進を目指すことを目的とします。
- 2 目標…年間 1単位クラブ 純増2名
- 3 運動期間…2年計画(令和4年～令和5年)
- 4 運動主体…①公益財団 埼玉県老人クラブ連合会
②市区町村老人クラブ連合会
③単位老人クラブ



◆埼玉県老連・過去5年間のクラブ数・会員数の推移

	クラブ数	前年比	会員数	前年比
平成30年3月31日 現在	3,009	▲64	165,207	▲5,494
平成31年3月31日 現在	2,957	▲52	159,584	▲5,623
令和2年3月31日 現在	2,893	▲64	153,257	▲6,327
令和3年3月31日 現在	2,804	▲89	144,952	▲8,305
令和4年3月31日 現在	2,688	▲116	134,035	▲10,917

◆老人クラブの継承のため改革

上記の表の通り、令和4年3月31日現在の年間クラブ数は116、会員数は10,917と減少している。次の世代にクラブを継承し、会員増強を図るには、次の様な大胆な改革が必要だ。

◆組織の若がえりにチャレンジしよう!

- ①クラブ会長の仕事を楽にしよう。=役員育成である
有能な若手会員・女性会員を登用し、我々が不得意なパソコン、スマホ、力仕事を任そう。
- ②将来の方針は合議制にしよう。=役員経験を積ませよう
登用した役員は、勉強し、論議し、より良い結論を導き出すだろう。
悪い場合は、会長が修正すればよい。
- ③運営を見直そう=他の団体の良い例は、真似しよう
我々は、今やマンネリに成っていないか。自治会長や民生委員の協力を得て、外部から老人クラブの運営を見直そう。よい意見を受け入れ、良いことは真似しよう。
- ④老人クラブの若返りのため=入会年齢を引き下げよう
老人クラブの入会年齢は概ね、60歳からが良いのか。高齢化で苦慮しているなら、50代の若手を賛助会員として迎え、手伝って頂く。



◆会員増強のため、老人クラブの常識を変えてみよう。

- ①クラブの諸行事は、今までの方法では、コロナ禍で通用しない。
殆どが密となり、中止となる。ならば、人数や、会場を分散すること必要ではないか?
- ②老人クラブのエリアを固執していないか。
クラブのエリア外に会員の友人がいる場合、エリアを超えて勧誘してはどうか?
また、隣のクラブが解散した場合、加入を希望する人達を勧誘出来ないか?
- ③自治会や、民生委員等の他地域団体関係者との連携ならば、
彼らの情報をお聞きして、会員を増やせないか?



令和4年度

健康づくり大学入学式

令和四年七月二十七日（水）、新入生三十五名を迎えて彩の国すこやかプラザセミナーホールに於いて入学式が開催されました。

開会式

司会は大橋公美子（県老連事務局）が担当、品川惣壽県老連副会長から、「仲間と交流の楽しさを味わいながら私達と一緒に強い力



を貸して下さい」と開会を宣言。内田まさ子学長（県老連会長）は新入生を前に歓迎と激励の挨拶「私も卒業生です。これからも「友愛活動」「会員増強」共に宜しくお願ひします」と話されました。

祝電の披露

「全老連会長」「埼玉県福祉部長」からいただきました。落合一弘県



老連事務局長代読。

学生の言葉

熊木年男氏（川口市）は、「講義に積極的に取り組み、有意義で思い出深いものとなるよう努めます」と誓いました。

閉会の言葉

岩澤勝徳県老連理事から、「ここで勉強した事を地域で役立てて下さい」と応援の言葉を述べられました。

記念写真の撮影

全員揃って笑顔の記念写真。皆さん一斉にマスクを外して、「は〜い笑顔!!」

オリエンテーション

授業の日程と各班の役割ついて説明がありました。

私、納もコロナ前に、二年続けて大学に通いました。「全員が卒業出来る様に、頑張ってください」。

さいたま市 納 美恵子



県知事への表敬訪問

令和4年8月24日（水）内田まさ子会長（川口市）・品川惣壽副会長（さいたま市）・玉水きみ子副会長（春日部市）・谷合傳治副会長（富士見市）・小林松十郎副会長（川越市）・久保谷昌夫副会長（春日部市）・藤野銀三副会長（熊谷市）・及び落合一弘事務局長と椎名久美子主幹が本年度の県老連の新体制の報告を兼ねて、大野元裕埼玉県知事へ表敬訪問を行った。

② 大野知事との面談
落合事務局長より役員を紹介を行った。

● 内田まさ子会長の挨拶

「本日は、大変お忙しいところ、ご面会をしていただき、誠に有り難うございます。県と本会は、太い絆のパイプでつながっております。そのおかげで、円滑な運営、多種にわたる事業が無事に実施できております。コロナの影響で現在開催を検討しておりますシルバースポーツ大会・創立六十周年記念大会が開催出来た時は、ぜひご臨席ください。この2つの事業は、特に会員の皆様が楽しみにしている事業でもあります。大野知事にお越しただけるとより、盛大になります。今後とも埼玉県老連に更なるご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」

① 県福祉部長との懇談会

知事に面会する前に金子直史福祉部長と播磨高志高齢者福祉課長等の懇談会が設けられた。



左側 金子直史福祉部長
右側 播磨高志高齢者福祉課長

● 大野元裕埼玉県知事のお言葉

「本日はわざわざお越し頂きありがとうございます。人生百年時代を健康に過ごせることが大切です。県として出来る事が有れば何でも協力いたします。」



右側 大野元裕埼玉県知事
左側 内田まさ子会長



埼玉県老人クラブ連合会の新体制で知事を表敬訪問



川越市 小林松十郎



川口市老連

青五松寿会会員増強運動

◇減少傾向にあった老人クラブの会員数は近年、コロナ禍も相俟って激減している。そんな状況の中、会員を一気に15名も増加した単位クラブがあった。青五松寿会である。

同会は6月2日(木)、健康体操会を行うとの情報があり、参加して会員増加の秘訣を取材した。

◇青五松寿会の健康体操会

日時…6月2日(木)14時～15時30分

会場…川口市立生涯学習プラザ
講師…田中道子全老連認定健康づくり推進員

参加者…54名

コロナ禍での開催であり、参加者全員は検温、消毒、マスク着用等、万全な対策が講じられました。

健康体操会は、司会高野副会長、開会白井副会長、挨拶内田まさ子青五松寿会長の開会挨拶「会員のご意見でこの体操会を実現しまし

た。」で始まった。

◇健康体操は、参加者全員が椅子に腰を掛け、田中講師の軽妙なトークで1時間30分進められた。

健康体操の始めは体をほぐし、次に足首、腕の上げ下げ、体のひねり、股関節等の運動に進みます。

田中講師は、手足の動きが体にどんな効果を及ぼすかをその都度、軽妙に説明しながら進めるため、会場内は笑いに満ち、和やかに進められました。



体操中、田中講師から「息を止めてはだめ、酸欠になるから呼吸をして下さい」との注意がありました。また、「筋肉は動かさない

と直ぐに衰える。一週間に一度は体操をして下さい」との提言を頂きました。

この健康体操は見た目は単純ですが、体が熱くなり、効果の程が分かります。

健康体操会は、参加者が楽しみ、満足し、成功裏に終了しました。

《内田会長インタビュー》

健康体操会終了後、場所を変えて内田会長から次のお話を伺いました。

①内田会長は、「私の原点は青五松寿会。会員、役員のことが一番大事です。」と切り切りました。そして、クラブは会員が楽しみ、望むものを行いたい。

②この体操会は、会員の希望で実現しました。役員達は、自ら判断し、受付・会場設営・運営を行い、54名もの参加を頂きました。

③青五松寿会には会員を15名失いました。しかし毎年、2000名の会員数を守り続けるために皆が協力し、15名の新会員に入会頂きました。川口市長奥ノ木信夫様ご夫妻を勧誘しましたが、居

住区域が異なるので、その地区のクラブに入会いただきませんでした。

④コロナ感染者が減り始めた5月30日に、バスで茨城県にメロン狩りに行きました。参加者は35名で、自分で収穫したメロンは持ち帰り、メロンの森にて冷えた完熟メロンを美味しく頂きました。美味しいメロンを味わってきました。経費は、茨城県補助金5,000円、GOTOトラベル2,000円のお買い物クーポンがつかまりました。

*短時間の取材でしたが、内田会長に以上のお話を頂きました。

内田会長は、言葉は優しいが、事のよし悪しをはっきり言われる方で、私の原点は青五松寿会と断言し、会員・役員を一番大事にしていることが分かりました。

健康体操会の運営を見ても、役員・会員の結束は強固であることが分かります。

越谷市 北山 隆司



川越市老連 会員増強実行委員会を設置

令和4年4月14日(木)の理事会において、川越市老連組織内に「会員増強実行委員会」の設置が承認された。

●体制づくり

〔市老連本部〕

- ① 総括責任者 市老連会長
- ② 実行委員長 研修指導部長

▼ 運動方針を企画・推進する。

- ③ 副実行委員長 他の部長
- ▼ 実行委員長を補佐する。

- ④ 実行委員 理事(支部長)

〔支部〕

- ⑤ 責任者 支部長(理事)
- ▼ 単位クラブの運動推進を指導(単位クラブ)

⑥ 推進リーダー

▼ 単位クラブの会長が推進リーダーになり、運動プランの企画・推進・まとめ等を班長・組長等を活用して推進する。

●運動方法

- ① クラブに会員増強委員会を設置

▼ 若手・女性・高齢者のパワーを活用しよう。若手は若手・女性は女性、高齢者は高齢者

▼ クラブ名入りのジャンパー等を着用・カードを首より下げ



▼ 少人数。笑顔で勧誘訪問。

② クラブをPRしよう。

▼ 地域に応じた「ポスター」。



「チラシ」等を作成・配布する。

③ 勧誘方法



④ 勧誘計画を作成

▼ 期間・エリア・勧誘担当を決定

▼ クラブの地域を分割、エリアごとに担当者を割り当てる。



⑤ 勧誘記録をとる。

▼ 勧誘報告書(エリア別)

▼ クラブ 月別記録

▼ 支部 クラブ別記録

▼ 市老連 支部別記録

▼ 県老連 令和4年度～5年度実施

年1回提出(4月末)

◎ 報告書は市老連の理事会で分析 今後の活動方針に活用したい。

●運動推進の説明会

① 6月13日理事会

② 6月24日研修指導部会

石田実行委員長より、「会員増強の手引き」を引用して作成した「パワーポイント」を使って説明が行われた。



●石田実行委員長の決意

「会員増強運動は、老人クラブが継続するのに絶対必要なことである。KJ法にて会員減少の原因を分析。川越市老連の総力を結集して頑張ります。」

川越市 小林 松十郎

さいたま市緑区女性部

「健康体操講座」と「会員増強運動」について

令和四年六月十三日(月)、緑区役所に於いて新型コロナウイルス感染症の拡大防止をしながら、緑区女性部会の活動のひとつとして、参加者は二十名「未加入者三名」と決め、田中道子先生(全老連健康づくり推進委員)を講師として、一時間半椅子に座って出来る体操を行いました。先生は四十歳から二十五年間勤められた、すばらしい方で、動きの軽やかさに

ただビックリ!!絶妙な会話で参加者の緊張をほぐしながら、動かす部位ごとに、どの様な効果があるかを説明、「腰が痛い、足が痛い」と言う会話にも、身ぶり手ぶりで解りやすく指導して下さいました。会員の中に、九十一歳の最高齢の方がいますが「とても年齢に見えない、背筋もピンとしている」先生のはめ方も上手です。冗談まじりで、ユーモアたっぷり、皆さん生き生きと指導通り笑顔で体操をしていました。先生の言葉として、「疲れてきたら挑戦はこの

位にして、休む事も必要。絶対に無理をしないで下さい」と念をおして言って下さいました。

コロナ禍も減少しはじめました。旅行、芸能大会、グラウンドゴルフ等、活発になってきましたね。前向きに挑戦して見ようという気持が高まってきている様です。今ですね、「笑顔で声かけ」自分の信念の強さがあれば望む結果を引き寄せることが出来ます。「私は出来ない」「私は無理」と言う人がいたならば、「見るだけでもいいから一緒にいこう!」とこれからも声をかけていきたいと思えます。私は、高齢者の希望を実現することが、生きる喜びに繋がっていくと信じます。

次回の健康づくり講座は、人数制限の無い中で、是非、田中道子先生に来て頂きたいと思えます。

さいたま市 桑田ひろ子

使ってみませんか? プラチナ・サポート・ショップ

高齢者の皆さんの暮らしを支えるサービスを行っている企業やお店です

例えば...

配送、移動販売、送迎・出張サービス、
車いす対応店、多目的トイレ設置店、
イトイン・休憩スペース、講座・習い事、
理美容、スマホ教室、防犯・見守りサービス
など



プラチナ・サポート・ショップはスマホやパソコンから検索できます

プラチナサポートショップ

検索



お問合せ先

まずは、詳細検索
ボタンから

詳細検索

- ① 地区を選択
- ② 使いたいサービスの
カテゴリーを選択
検索してください



埼玉県福祉部 地域包括ケア課 地域包括ケア担当 TEL : 048-830-3256 E-Mail : a3250-03@pref.saitama.lg.jp

いきいき活動を
支える

老人クラブ会員向けに **傷害保険・賠償責任保険** で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単
位老人クラブです。
- ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続
きはできません。
- ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。
(資料請求受付期間)【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで
【賠償責任保険】随時受付中

2022年10月始期 2023年 4月始期版 **傷害保険** (掛金・補償内容)

自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)。
一部のタイプでは特定感染症に感染した場合や、他人の物を壊したり、
他人にケガをさせた場合*1も対象となります。1人1口加入で年齢制限はありません
(複数口加入はできません)。*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

①保険始期月 および保険期間	保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
	2022年10月	2022年7月15日～9月15日まで	2022年10月1日午後4時から1年間
	2023年4月	2023年1月15日～3月15日まで	2023年4月1日午後4時から1年間

②掛金内容・補償内容【下記◆重要◆と併せてご確認ください】

タイプ	補償充実 24時間型 クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)・クラブ活動中以外を問わず 日常生活全般(24時間)のケガを補償します。 【補償額】上段:活動中のケガの補償額 下段:(活動中以外のケガの補償額)				活動型 クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)の ケガを補償します。		
	掛金	12,000円/年	8,000円/年	5,000円/年	3,500円/年	1,000円/年	500円/年
A 死亡保険金(注2) (事故から180日以内)		352万円 (182万円)	208万円 (123万円)	189万円 (104万円)	119万円 (74万円)	85万円	45万円
B 後遺障害保険金(注2) (事故から180日以内)		352万円 (182万円)	208万円 (123万円)	189万円 (104万円)	119万円 (74万円)	85万円	45万円
C 入院保険金日額(注3) (事故から180日以内、30日限度)		6,300円 (2,300円)	3,200円 (1,200円)	3,050円 (1,050円)	1,800円 (800円)	2,000円	1,000円
D 通院保険金日額 (事故から180日以内、30日限度)		3,700円 (1,100円)	2,050円 (750円)	1,950円 (650円)	1,150円 (500円)	1,300円	650円
特定感染症危険補償 (新型コロナウイルス感染症含む)(注4) (始期日から10日間は免責)		対象となる保険金 B C D (注5) (A死亡保険金は対象外です)					
個人賠償責任補償 (自転車事故も含む)(注6)		1億円限度					
地震・噴火・津波 危険補償		対象となる保険金 A B C D (注5)					
熱中症危険補償		対象となる保険金 A B C D (注5)					

◆重要◆

- ④(注1) 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、クラブ活動場所までの通常経路を指します。
- ⑤(注2) 死亡保険金と後遺障害保険金をどちらも請求する場合、いずれかの補償額が上限となります。(例:すでに支払った後遺障害保険金がある場合の死亡保険金は、すでに支払った金額を控除した残額となります)後遺障害の程度に応じて、後遺障害保険金の4%～100%が支払われます。
- ⑥(注3) 手術保険金として、入院中は入院保険金日額の10倍、外来(入院中以外)は5倍がお支払対象となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。
- ⑦(注4) 特定感染症危険補償特約。2022年2月現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項第3号に規定されていますので、補償対象となります。特定感染症を発病した場合に、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金について(除く死亡保険金、手術保険金)補償の対象となります。
- ⑧(注5) 特定感染症、地震・噴火・津波危険補償、熱中症危険補償はクラブ活動中・活動以外を問わず24時間対象ですが、補償額はA死亡保険金(除く特定感染症補償)、⑥後遺障害保険金、C入院保険金日額、D通院保険金日額の下段()内の補償額(活動中以外の補償額)となります。
- ⑨(注6) 1事故について1億円を限度に保険金をお支払いします。自動車等を運転中に生じた事故については対象外となります。

③【クラブ活動中とは】

- (1)「所属する単位クラブが予め計画・実施する活動」および
- (2)「市区町村(地区・校区)から全国までの各連合会が主催する活動イベント」ならびに
- (3)「老人クラブ関係者として他団体の活動」への参加・往復途上を含みます。
- (4)事故証明者:単位クラブ関係者、参加した主催老連関係者

賠償責任保険 (掛金・補償内容)

他人の物を壊したり、ケガをさせた時*1の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対 象 : 単位老人クラブ(全員加入が条件となります) ② 保険期間 : 毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③ 掛 金 : 1人年額100円(最低引受保険料3,000円) ④ 補 償 : 支払限度額1億円

*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。



公益財団法人 **全国老人クラブ連合会** 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

受付時間 9:30～17:00(土、日、祝祭日、年末年始)

加入申請書等、資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 老人クラブ保険 検索 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

【老人クラブ傷害保険】
老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・
総合生活保険(傷害補償)
【老人クラブ団体賠償責任保険】
施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

2022年3月作成 21-TC11211

県老連事業〈8月・9月の日程について〉

〈8月〉

○市町村老連事務担当者研修会

令和4年8月3日(水)

※延期日

・日時—令和4年12月13日(火)

13時

・場所—彩の国すこやかプラザ

○第5回広報委員会

・日時—令和4年8月5日(金)

13時

・場所—彩の国すこやかプラザ

○健康づくり大学講座

・日時—令和4年8月10日(水)、

16日(火)

※延期(この講座は、9月以降に開催予定。)

○会員増強委員会

令和4年8月18日(木)

※延期日

・日時—令和4年10月6日(木)

13時30分

・場所—大宮ソニックシティ

○新任単位クラブ会長研修会

(東部・南部)

令和4年8月24日(水)

※延期日(東西南北合同)

・日時—令和4年11月2日(水)

・場所—彩の国すこやかプラザ

○健康づくり大学講座

・日時—令和4年8月31日(水)

13時

・場所—彩の国すこやかプラザ

〈9月〉

○スポーツ大会主管会議

・日時—令和4年9月6日(火)

13時30分

・場所—彩の国すこやかプラザ

○新任単位クラブ会長研修会

(西部・北部・老人生)

令和4年9月7日(水)

※延期日(東西南北合同)

・日時—令和4年11月2日(水)

・場所—彩の国すこやかプラザ

○第6回広報委員会

・日時—令和4年9月9日(金)

13時

・場所—彩の国すこやかプラザ

○第3回理事会

令和4年9月16日(金)

※延期日

・日時—令和4年9月30日(金)

13時

・場所—彩の国すこやかプラザ

○第33回いきいき創作展

・日時—令和4年9月23日(金)

13時

・場所—埼玉会館

○女性リーダー泊研修会

令和4年9月29日(木)～30日(金)

※延期(日程未定)

○県老連職員派遣について

9月中に開催される参加者30名以上の市町村老連講演及び研修会へ県老連職員等の派遣を延期させていただきます。

編集後記

梅雨が二十五日早いそう
で、日本だけでなく、世界中
が猛暑といえる。

三年目に入るコロナウイ
ルスも、この広報誌が皆様のお
手元に届く頃には、マスクを
しない日常生活が送られてい
ましたら最高ですね。県、市
区、共にあらゆる事業が動き
始めました。久しぶりに仲間
と一緒に共同作業が出来ると
思うと心が踊ります。彩愛ク
ラブ「特別号」田中道子先生
の「365歩のマーチ」を唄
いながら体を動かし、鍛えて
いくのも良いと思います。笑
顔は人を幸福にします。この
気持ちで「声かけ」を皆で頑
張っていきましょう。

さいたま市 納 美恵子

「彩愛クラブ埼玉」は、
赤い羽根共同募金の
助成を受けて発行しています。

